



# 招提北中だより

枚方市立招提北中学校  
H29. 9. 20 (水)  
発行者：校長 山本俊夫

## 防災について考える

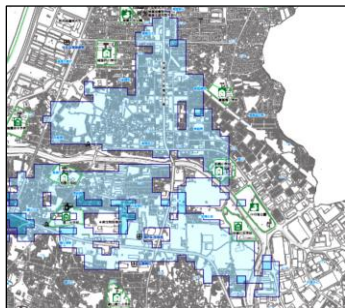
気象庁が統計を開始した1951年以降初めて、日本の「上陸」と表現する4島(九州・四国・本州・北海道)に全て上陸したようです。大阪でも18日の午後11時30分頃、「台風の名」が大坂を通過したのか、一時無風状態になりました。大阪全域では大きな被害もなく通過しましたが、九州では川が氾濫し、全国各地で大きな被害を受けたところもあったようです。

9月1日に関東大震災が発生したので、その日が「防災の日」となっていますが、昔から9月は災害の多い月といわれ、特に台風が日本列島付近を通過する数が最も多い時期であるため、被害も多く発生しています。

大阪は台風や地震の被害が比較的少ないところだなと感じますか、かつては大きな台風被害を受けたことがあります。私の父は大阪市の消防士で、私が生まれる前に襲来した「伊勢湾台風」と「第二室戸台風」のことについて、子どものころよく話を聞かされました。「第二室戸台風」の時には、家の玄関の扉が破られ、2階の屋根が浮き上がり、隣の空き地に屋根ごと落ちたそうです。それだけに、「台風接近」となると、父は警戒で出ていましたから、母と私たち子どもで家を守るために雨戸を閉め、その雨戸が飛ばないようにその雨戸の上から板を打ち付けるなど、台風に対する備えを万全に行っていました。今は住宅事情も変わりそんな心配はあまりありませんが、それでも台風情報には目が離せず気になってしまいます。

住んでいる地域によって起こりうる(想定される)災害とその災害に対する防災体制についてはさまざまです。招提北中学校区では、天井川である「船橋川」の氾濫が気になるところです。そのことも含め、本市の防災については、全世帯に配布されていると思いますが、「枚方市防災マップ」に詳しく載っています(※下に本校の周りで、浸水の可能性のある地域の地図を載せましたが不鮮明なので、詳しくは防災マップを見てください)。

これまで自分が住んでいる地域の「防災」について、あまり考えることがなかったかもしれませんが、しかしながら、「災害」はいつ起こるか分からないからこそ、「常に備えておく」という意識は必要でしょう。これを機会に、「枚方市防災マップ」を見て「防災」について考え、自分自身はもちろん家族や地域の人たちを災害から守るといった気持ちを持ってもらえればと思います。



この3連休に全国各地へ影響をもたらした台風18号ですが、皆さんの家やまわりの地域で被害はありませんでしたか。この台風18号、



## 文化祭に向けた取り組み

10月3日の文化祭まであと10日を切りました。各学級・学年での取り組みも拍車がかかってきています。「もうこれくらいいいか」と妥協することなく、一致団結して、更なる高みを目指してがんばってください。

